

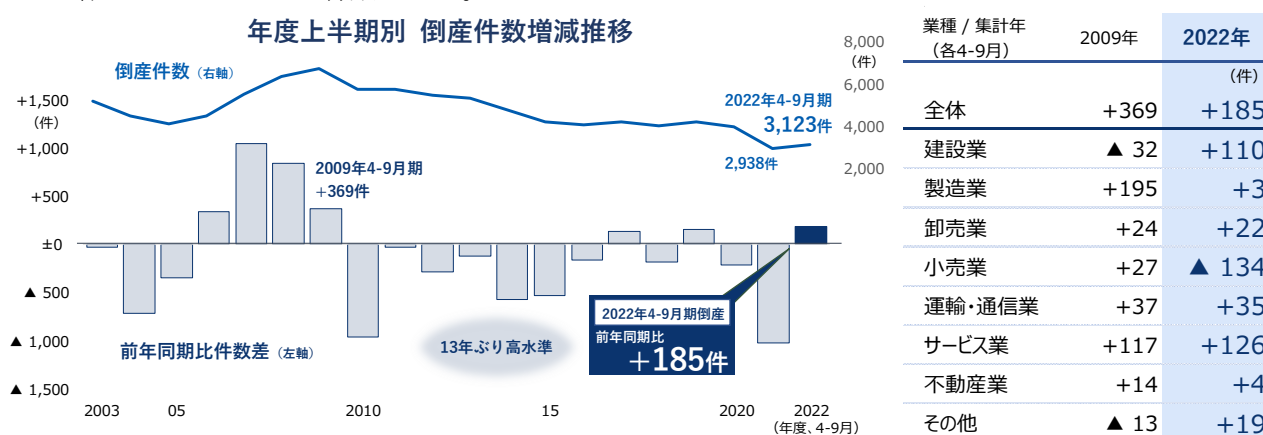
全国企業倒産集計 2022 年度上半期報 別紙号外レポート

4-9 月期の倒産、前年から 185 件増加 ～ 増加幅は過去 10 年で最多、 「リーマン後」以来 13 年ぶりの高水準に ～

2022 年度上半期（4-9 月）の倒産件数は前年同期の 2938 件を上回る 3123 件となり、4-9 月期としては 3 年ぶりの増加となった。コロナ禍に突入した 2020 年以降、コロナ関連融資をはじめ各種の支援によって減少が続いた企業倒産は、2022 年 5 月以降は一転して増加基調に転じ、年度半期ベースでもコロナ禍で初の増加となった。

特に、倒産件数の増加幅では前年同期比 185 件の増加となった。増加幅としては、過去 10 年では増加に転じた 2017・19 年 4-9 月期（各 138 件・160 件増）を上回り最多。リーマン・ショック直後の 2009 年同期の 369 件増以来、13 年ぶりの高水準となった。

2009 年 4-9 月では、機械製造などの「製造業」（195 件増）、宿泊業など「サービス業」（117 件増）といった業種で増加した。主にリーマン・ショックによる景気後退の余波を受け、設備投資関連や娯楽関連の倒産増が要因となった。一方、2022 年同期ではサービス業のほか「建設業」（110 件増）などが大幅に増加。リーマン・ショック後の公共工事前倒し発注などにより、2009 年 4-9 月の建設業の倒産は大幅に抑制されていた一方で、2022 年同期はウクライナ侵攻や円安などによる建設資材の価格高騰といった「物価高」、「人手不足」なども重なり、中小零細の建設業者で倒産が増加していることが背景にある。



株式会社帝国データバンク 情報統括部長 上西 伴浩

【問い合わせ先】 飯島 大介、辻尾 智宏、大友 隆靖

03-5919-9343 (直通) 情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。